



副次効果評価シート

主要目標番号	1.1-3(2)	主要目標に対する副次効果 集項目	対象地区・前 年度で設定され る副次効果	評価の説明	評価結果		
主要目標	農業生産力の向上						
評価対象地区・箇所名	1. 評域 一宮南部						
主要目標体系	I 1.交通 の利便性の 向上	1. 評域 道路の 拡充	(1) 生活圏中心城市・拠点機能へのア ツケ 七ノ上				
		2. 地域間 交通の利 便性の向 上	(2) 市町村中心地・大規模拠点施設への アツケ 七ノ上				
	I 2.生活環境の 向上	I 1-3 農林水産業 の振興	(3) 観光地内外の交通の円滑化				
			(4) 市街地内の交通の円滑化				
			(5) 集落間・小規模拠点施設へのアツケ 向上	●	○	主要目標「集落間・小規模拠点施設へのアツケ」向上の評価指標によるラツケa 全職員4.0m以上道路延長率 100.0% ≧ 79.5%	2
			(1) 森林機能の維持・向上				
			(2) 憩い空間の創出				
	II 暮らしと 経済活動の 安全性	II 1-1.交通の安全 性の向上	(3) 生活排水処理機能の向上				
			(4) 良好な市街地空間の確保				
			(5) 適正な居住空間の確保				
(1) 農村生活・生産機能の向上							
(2) 農業所得の向上							
副次効果項目	交通利便性	交通ターミナル機能の強化	(1) 歩行者等の安全性の確保				
			(2) 災害に強い道路の確保				
			(1) 洪水被害の防止				
			(2) 土石流被害の防止				
			(3) 崖崩れ被害の防止				
			(1) 鳥獣被害の軽減	●	○	主要目標「鳥獣害の軽減」の評価指標によるラツケa 被害軽減額 914千円/ha ≧ 490千円/ha	2
			水の浄化				
			大気汚染の軽減				
			騒音・振動の軽減				
			良好な景観の創出				
ライフラインの促進							
ライフラインの強化							
身近な緑地・交流の場の提供							
飲雑用水の安定供給	●						
糞尿の処理	●						
地域の文化・学習等活動の支援	●						
各種情報の円滑な提供	●						
水源涵養機能の向上							
生態系空間の再生							
自然環境	自然環境	●					
農林園圃農産物の保全							
防火帯・延焼遮断帯の確保							
緊急時の避難・救助機能の確保							
既存施設の崩壊危険性の排除	●						
走行安全性の確保	●						
林業所得の向上							
遊休農地の解消	●	○	基礎整備が進むことで、遊休農地の活用が図られる。	1			
新たな公共用地の創出	●						
農地の保全	●	○	基礎整備が進むことで、農地の保全が図られる。	1			
農林産物の販売促進	●						
自然エネルギーの活用	●						
リサイクルの推進	●						
文化・歴史的資源等の保存・復元	●						
他事業との一体施工	●						
重要プロジェクトとしての位置づけ	●	○	やまなし農業おカサ大綱における中山間地域の活性化に資する事業である。	1			
副次効果評価 点合計					9		

注1) 主要目標に対応する副次効果項目の欄に●が附されている副次効果項目のうち、「対象地区・箇所」で想定される副次効果の欄に○を記入、「評価の説明」欄に具体的な評価内容を記入する。  
注2) 副次効果の内、他の主要目標に該当するものは、当該主要目標内でのラツケ区分の基礎に依りラツケ付けを行い、ラツケaに該当するものは2点、ラツケb以下の場合1点とする。